

令和2年度 本市の基本施策に関する 市民からのご意見・ご提案について

No.	ご意見・ご提案	ご意見・ご提案に対する市の考え方	ジャンル
1	子ども、高齢者、障害者向けの福祉をこれまで以上に充実させてほしい	現在、支援を必要とする者が、必要なサービスを利用することができるよう、地域、行政、社会福祉協議会、福祉事業者、関係機関団体と連携を図りながら、南城市こどものまち宣言、地域生活支援事業、地域包括ケアシステムの構築推進事業等を実施しております。また、今後も安心して利用できる相談支援体制の整備や福祉の充実に努めるとともに、引き続き、福祉制度・サービスに関する情報を、広報誌及びホームページに掲載し、情報発信に努めてまいります。	福祉
2	子育て（特に障害児）のサポートの充実化を希望します。	現在、親子通園事業、障害児保育補助事業に取り組んでおります。引き続き、様々な支援制度の発信に努めると共に、関係機関の連携のもと必要な子にサービスが行き届くような支援体制を強化してまいります。	福祉
3	貧困世帯への支援、子どもの人権・平和教育の充実、障がい者も暮らしやすい社会づくりに向けた施策を展開してほしい。	<p>貧困世帯への支援として、各中学校区にスクールソーシャルワーカーを配置し、子どもの居場所へつなげる活動を行っております。さらに、子どもの居場所では、食事の提供または共同での調理、学習支援、生活指導などを実施しており、子どもが世帯の状況に左右されることなく、一人ひとりが自己肯定感を高め、貧困の連鎖から抜け出せるよう引き続き支援してまいります。</p> <p>障がい者も暮らしやすい社会づくりについては、地域生活支援拠点の機能を充実させることで、障がい者が住み慣れた地域で安心して生活し続けられるよう努めます。また、障がい者や支援が必要な方が暮らしやすい社会の実現の一助として、「パーキングパーミット」事業の実施に向けて検討してまいります。</p> <p>※パーキングパーミットとは、障がい者用の駐車施設を必要とする人に利用証（許可証）を交付して、駐車車両を識別できるようにして許可車両以外の不正駐車を防ぐ制度。</p>	福祉
4	譲り受けた農地を農業以外で有効的かつ積極的に利用できるようにしてほしい	農地を農業以外で活用（農地転用）する場合、農地法による農地転用の許可が必要となります。その際、農業振興地域内の農用地に指定された農地ではないこと、都市計画法上の用途が制限されていないこと、比較的市街地や住宅地に近い場所にあること等、農地法上で許可可能とされる農地であれば農業以外で活用（農地転用）することができます。	農林水産業
5	耕作放棄地が多いので、対策を講じてほしい。	現在、農地の集積・集約化等を図りながら耕作放棄地等の解消・発生防止の推進および再生作業等や作物生産の再開に向けた支援を行っており、引き続き、同取組みに努めてまいります。	農林水産業
6	農漁業の後継者育成の政策をお願いします。	現在、農業次世代人材投資事業等の事業を実施しており、引き続き、初期費用に必要な経費の補助や、安心して農業を継続できるよう努めてまいります。また、漁業者の後継者育成については、新規就業者の確保に取り組むとともに、研修や子供達の職場体験学習の実施、その他収入向上の取組として環境整備等を行い安定的に経営ができるよう努めてまいります。	農林水産業

令和2年度 本市の基本施策に関する 市民からのご意見・ご提案について

No.	ご意見・ご提案	ご意見・ご提案に対する市の考え方	ジャンル
7	行政とJA商工会等が連携、協力し農業、漁業の産物をいわゆる6次産業化し、観光産業と一体化するような施策の展開を求めます。	現在、南城市産商品販売力強化事業を実施しており、引き続き、商工会や観光産業とも連携を図り、農畜水産物の魅力について、普及・啓発を図り地域特性やニーズに合った支援に努めてまいります。また、各事業所が進める取組みと連携を図り、6次産業化事業の具現化についても支援してまいります。	農林水産業
8	玉城や稲嶺の住人が77号線への抜け道として使う生活道路が草は伸び放題で視認性は悪く道路も部分的に陥没しているため対応してほしい。 カチャカフェの向かいの歩道は雑草は伸びているし、歩道も砂利で子供を散歩させるのも歩きづらいしベビーカー使いたくても使えないので対策を。	市道屋宜原線の歩道が一部陥没している箇所につきましては、令和2年度において修繕を完了しております。除草等につきましては、適切に管理してまいります。	道路
9	市内の歩道の整備 歩道があっても、途中で途切れている場所や草木で被われ通行出来ない箇所が多い。 結果的に車道を歩く事になり危険。	歩道は、道路整備と併せて整備を行っております。歩道の一部区間未整備箇所については、何らかの理由があり整備を行えていないものと考えられます。 草木などの伐採については、歩行に影響が出ないように対応してまいります。	道路
10	・市内全体的に街灯の設置を望む。 ・通学路の安全のため街灯を増やしてほしい。 ・大里中からエネオスへ向かう農道が何十年前も前から真っ暗で危険で、道路も陥没しているため対応してほしい。	主に道路を照らすことが目的である道路照明灯については、現在、交通量、歩行者数、交通事故件数、道路の制限速度、歩道等有無など国の道路照明施設設置基準に照らし、設置しております。防犯を目的として設置する集落道の防犯灯の設置に関しては、各自治会の防犯灯設置に対し補助金を交付している状況です。 国道・県道の街灯に関しては、それぞれ国県の基準に照らし合わせて設置を行っている状況です。 本道路は、旧県道77号線で沖縄県の管理となっております。陥没箇所については応急措置の時期について調整中であり、今後の調査結果によっては擁壁部分も含めた総合的な工事を実施する予定との回答をいただいております。	道路
11	道路整備について、半端な整備が目立つため投資効果が発揮できるよう進めてほしい。	令和元年度は、10路線の整備（内2路線は完了）を行いました。引き続き、早期に投資効果が発現できるよう努めてまいります。	道路
12	喜良原の三差路交差点の信号機を時差式等へ変更し、大型車の騒音対策をしてほしい。	当該交差点の状況について、与那原警察署と協議しましたが、様々な課題があり現時点では対応が難しい状況です。	道路
13	山里トンネルから親慶原方面へ通行するとき、畑などからたくさん木やキビが飛び出ているととても危険であるため、対策をしてほしい。	地主等の関係者へ協力依頼を行っております。引き続き、連絡通行に支障のないよう安全確保のために対策を行ってまいります。	道路
14	小さい集落の主となる道路（1本でよい）の維持管理、更新をしてほしい。	令和元年度は、85件の市道修繕（排水施設や道路に付属する部分の設置含む）を行いました。引き続き、適切に維持修繕等を行ってまいります。	道路

令和2年度 本市の基本施策に関する 市民からのご意見・ご提案について

No.	ご意見・ご提案	ご意見・ご提案に対する市の考え方	ジャンル
15	<ul style="list-style-type: none"> ・大里地区は道路事情が悪いので特に通学路の歩道設置などの対応を ・船越公民館側から小学校向けの道に歩道がなく、特に朝は送迎の車が多く危険である。子どもの安全の為に歩道の設置をしてほしい。 ・通学路の整備や渋滞の緩和（稲嶺・仲程交差点）に向けた取組みを実施してほしい。 ・近年発生している豪雨への対応、河川海岸の水害、地滑り対策をしてほしい。 	<p>市道の整備については、交通量、利用状況等を踏まえ、各種対策を検討してまいります。</p> <p>また、県道交差点整備については、これまで同様道路管理者の沖縄県へ整備要望をおこなってまいります。</p> <p>災害への対応については、災害の状況等を踏まえ対応策を検討してまいります。</p>	道路
16	大里ニュータウンから南小学校への道路の早期開通を望みます。	早期に開通できるよう地権者との合意形成に引き続き努めてまいります。	道路
17	馬天保育園通学路の排水路のふたの設置をお願いします。	本路線については旧佐敷町時代に農地への通作路として農水省補助で整備された農道で蓋は設置しておりません。現在の排水路は自動車加重が想定されていないU字溝となっていることから蓋掛けは厳しいと考えます。緊急性のある場所については、別の対応策（ポールを設置など）を検討してまいります。	道路
18	スポーツレクセンターの道路整備を進めてほしい。	早期に開通できるよう努めてまいります。	道路
19	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯上安心できる生活を確保するために、ムラヤーの活性化を推進してほしい。 ・自治会の活性化を推進してほしい。 ・コミュニティの充実のために各地域に老若男女参加したくなるような仕組みがほしい。 	本市は地域と市の協働により持続可能な自治会活動を実現するため、人材育成、人的支援、財政的支援、仕組みづくりの南城市ムラヤー支援事業に取り組んでおり、引き続き市民及び自治会と連携し支援してまいります。	地域
20	三世代同居補助金を人口減少地域に大きく傾斜配分を行うなど、真に必要な地域に即した取り組みの実施を希望します。	地域コミュニティの活性化や、定住促進を図るために平成30年度に創設された本補助金については、令和3年度において、これまでに本補助金を受給した世帯へのアンケート調査を実施する予定であり、その回答内容を参考にしながら、本市の均衡ある発展に寄与すべく検討いたします。	地域
21	<p>新開は津波などあった場合には逃げ場がないので、高い建物へ避難できるように市が指定し、訓練の実施をしてほしい。</p> <p>大きな災害などがおきたときに安心できる地域へのサポートを明確にし、自治会加入の推進に繋がらないか。</p>	<p>佐敷、知念、玉城の沿岸部には、津波災害警戒区域に指定された箇所があり、市としても、当該地域にある要件を満たす建築物を津波避難ビルに指定する方向で検討しております。避難訓練については、自治会と調整し検討してまいります。</p> <p>大規模災害時には、近隣住民同士の「共助」がとても重要となるため、引き続き自主防災組織の結成を推進してまいります。また、防災訓練などを通じて市と地域が連携し、自治会加入者にとっても安心できるような取組について、検討してまいります。</p>	地域

令和2年度 本市の基本施策に関する 市民からのご意見・ご提案について

No.	ご意見・ご提案	ご意見・ご提案に対する市の考え方	ジャンル
22	<p>・市民活動支援センターが積極的に行動すれば政策の目的も地域の課題にも取り組めるのでもっと動くべきではないでしょうか。</p> <p>・行政と市民が一緒になって取り組んでいけるような絆を実感できるまちの実現にむけて取り組んでほしい。</p>	<p>南城市民活動支援センターは、南城市民による市民のためのまちづくりを実現することを目的に設置されております。市の政策実現や地域の課題解決に向け、積極的に地域のイベントや地域づくりの現場へ足を運び、市民活動をより良くするためのアドバイス等を強化してまいります。引き続き、市民協働のまちづくりに向けて取り組んでまいります。</p>	地域
23	<p>未就学児の子供が4人います。</p> <p>児童手当や、医療費助成など、ありがたい事ばかりで日々助かってるんですが、1つだけ、悩みの種があります。</p> <p>我が家はありがたいことに、上3人が幼稚園、保育園に通えてるんですが、幼稚園は置いておき、保育園2人が別々のところで、今のところ3箇所バラバラの送迎になってます。往復1時間です。</p> <p>下の子が保育園入って、育休明け復職しても、全員を保育時間内にお迎えとなると通勤時間が1時間早まることになります。でもその分のお給料は減ってしまう。この状況をどうにかして欲しいです。もっと兄妹加点が多くていいと思います。保育園入れても別々のところだとかなり不便です。</p>	<p>保育園への入園は、保護者の就労状況等の世帯状況に応じた点数付けを行い、点数の高い方から順に入所の案内を行っています。各年齢の受け入れ児童数や希望児童数によっては、きょうだい児を別々の園へご案内しなければならないこともございます。しかし、そのような場合は、転園希望を出していただき、希望園に空きが出次第ご案内させていただいております。また、新年度入所申込時は、現在利用している園へ在園児としての籍を残しつつ、きょうだいのいる園を希望することも可能となっていますので、そちらの制度もご利用下さい。</p> <p>きょうだい児の加点を多くしてほしいという提案につきましては、きょうだいのいない児童が希望する保育園を利用しにくい状況となるなど、不公平感が生じることが懸念されるため、慎重に検討させていただきます。</p>	子育て
24	<p>子ども達が健やかに育ち楽しく学べるよう、学校外の居場所づくりを充実させてほしい。</p>	<p>現在、放課後子どもプラン事業、子供の居場所運営支援事業を実施しております。放課後の学校外の居場所づくりについては、地域性や各家庭状況に応じたニーズに対応できるよう努めてまいります。今後は、児童館や学童クラブの他に学校の施設を活用した「放課後子ども教室」や出張型児童館「お出かけ児童館」を実施するなど、居場所づくりの拡充を図って参ります。</p>	子育て
25	<p>少子化で人口減少が明らかに見えているので子どものため、子育て世代の夫婦のための施策を優先し検討いただきたい。</p>	<p>本市では「第2期南城市子ども・子育て支援事業計画」などをもとに、妊婦検診や乳児家庭全戸訪問事業、病児保育、放課後児童健全育成事業など、児童の成長に応じた各種支援を実施しております。現在実施している事業の効果を検証し、引き続き市民ニーズに応じた支援が行えるよう努めてまいります。</p>	子育て
26	<p>待機児童問題を解消してほしい。</p>	<p>本市の待機児童は令和元年度が145名、令和2年度が110名となっていることから、対策として、「南城市子ども・子育て支援事業計画」に基づく保育施設整備や、「南城市待機児童対策に関する基本方針」に基づき、保育士等確保や既存施設の有効活用による保育定員増を進めてまいります。</p>	子育て
27	<p>若年妊産婦の支援 乳児教育支援、居場所（センター）の設置を。</p>	<p>市では、安心して妊娠・出産・子育てをしていただけるよう、妊娠期から乳幼児期にわたるまでの子育てをサポートする「母子健康包括支援センター」を令和2年7月に開設しております。また、若年妊産婦の支援に関しては、母子手帳交付時に子育て支援課等福祉部門につないだり、「10代ママくらぶ」の紹介を行うなど、妊産婦がいつでも気軽に立ち寄り相談できる体制を整えております。</p>	子育て

令和2年度 本市の基本施策に関する 市民からのご意見・ご提案について

No.	ご意見・ご提案	ご意見・ご提案に対する市の考え方	ジャンル
28	不登校や遊び型の子どもでも「来ていいよ、入って」といえる場所がほしい。	児童館を活用し、状況に応じてスクールソーシャルワーカーや教育相談員等と連携した支援を行っており、引き続き、支援に努めてまいります。	子育て
29	児童館の閉館時間を30分延長できないか。	現在、児童館の利用対象者のほとんどが小中学生であるため、安全に帰宅できる時間を考慮して午後6時に閉館しています。	公共施設
30	・児童館は、校区にない所がある。平等ではないのではないのでしょうか。 ・船越小区への児童館設置を早急に進めてほしい。	児童館がない地域については、整備の検討を行っているところですが、用地の取得や建設費用等、様々な課題があることから、引き続き解決に向けて取り組んでまいります。また今後は、新たな放課後の子どもの居場所として、学校の施設を活用した「放課後こども教室」や出張型児童館「おでかけ児童館」を実施するなど居場所づくりの拡充にも努めてまいります。	公共施設
31	市内各地域に公園整備 子供たちが自分達で歩いて行ける地域の小さな公園があると良い。自動車がないと公園に行けず、子供が集合住宅の駐車場で遊んだりコンビニ等でたむろして、行く場所がない。 Nバスで公園まで行けるようになる事も、対策になると思われる。	本市では、グスクロード公園、大里城址公園・大里内原公園、富祖崎公園、知念岬公園を拠点公園として位置づけ、改修・機能拡充を進めてまいります。	公共施設
32	老朽化施設を整理し、公共機能を含めた複合型商業施設の取り組みの実施。 図書館とか映画館とかスポーツ施設などのはいった小さいこどもからお年寄りまで利用できる複合施設ができてほしい。	施設老朽化度調査等を踏まえ、老朽化施設の今後の方針を検討・決定してまいります。 企業誘致等の観点も含めて検討していきます。	公共施設
33	グリーンタウンにある勤労者体育館をくずして、跡地に遊具、健康器具等を設置し、大人も子供も楽しめる運動公園を設置してはどうでしょうか。	大里勤労者体育センター跡地については、公募による民間事業者からの提案等をもとに活用内容を検討してまいります。	公共施設
34	体育施設の老朽化対策と活用方法についてどう考えてますか。	老朽化した施設については、市民の安全を最優先として維持管理を実施してまいります。また、公共施設の個別施設計画等の関連計画と整合性をとりながら、今後の方向性を検討してまいります。 活用方法としましては、施設の利用率を高めるとともに利用者の総合的な満足度の向上を図るため、指定管理者制度等を活用し施設の利活用促進を図ってまいります。	公共施設
35	佐敷スポレクセンターの環境改善を求めます。	利用者の総合的な満足度の向上を図るため、指定管理者制度等を活用し施設の環境改善を図ってまいります。	公共施設
36	中央図書館、公文書館の整備を求め。	当面は、分館方式を維持しながら電子図書の整備など利用者の利便性を向上させていく方針です。 公文書館については現在予定しておりません。	公共施設

令和2年度 本市の基本施策に関する 市民からのご意見・ご提案について

No.	ご意見・ご提案	ご意見・ご提案に対する市の考え方	ジャンル
37	新開球場の場所は別の機能が必要ではないでしょうか。	新開球場については、地域周辺の環境に合わせた機能整備を検討していきたいと考えております。	公共施設
38	歴史文化の保存と継承の場「常設資料館」等の設置を希望します。	担当課を中心に建設に向けて全庁的に取り組んでいます。	公共施設
39	人口減少対策として、ワンチン原団地を戸建てではなく、アパートのような建物へ建て替えをしてほしい。	市の管理する公営住宅は、修繕、改修を行い安全・安心な住環境を提供する計画となっています。現時点で、建て替えを行う予定はありませんが、改築時点で整備方法を検討してまいります。	公共施設
40	漁港施設の集約（海野・志喜屋・奥武）。	各地域毎で多くの漁業者に利用されていることもあり、現時点で漁港の集約は予定しておりません。	公共施設
41	玉城福祉センターを新原の人たちの高台移転先（防災施設）として確保してほしい。	南城市福祉センター(玉城)は、建物の劣化が著しく屋内施設は利用できない状態で、今後建て替えの計画はございません。災害時等の避難場所については、今後検討してまいります。	公共施設
42	総合福祉センターが幼稚園に変わり、高齢者の居場所やサークルの活動場所が少なくなるのでは。 玉城のセンターも佐敷のセンターも老朽化していて、市民の活動の中心となるホールや福祉活動ができる場所を早急に建てる必要があるのではないかと。	市民の活動の場は必要であると考えておりますが、現時点において新たな公共施設の計画には至っておりません。引き続き検討してまいります。	公共施設
43	公共駐車場にスケボーパークがほしい。	公共駐車場は、イベント開催や大規模災害時の避難場所、公共的な駐車場としての利活用を目的に整備していることから、スケボー大会等のイベント活用は可能となりますが、構造物の常設についての協議が必要であると考えております。	公共施設
44	図書館や児童館を利用していますが知念村議会の建物を取り壊して、駐車場として整備してほしい。	旧知念議会棟は、現在、高齢者筋力向上トレーニング事業（がんじゅう教室）で利用しております。今後も引き続き利用する予定のため、現時点で取り壊しの予定はありません。	公共施設
45	農協以外の金融機関を市役所に誘致できないか。 庁舎入り口近くにコピー機設置。	J A 沖縄は南城市の指定金融機関となっている関係で、庁舎内に店舗を構えております。現在のところ、J A 沖縄以外の金融機関からの設置要望はありません。 令和3年2月から庁舎1階にコピー機（有料）を設置しております。	公共施設
46	市役所の芝のスペース（丸い所）、フン水を作って欲しい（イルミネーション点けたら夜はキレイ）	市役所レストラン前の芝生の広場は、イベントや運動での利用を想定しており、余剰スペースが無いことから噴水の設置は難しい状況です。噴水やイルミネーション等の憩いの場については、今後の余剰スペースなどを踏まえ検討してまいります。	公共施設

令和2年度 本市の基本施策に関する 市民からのご意見・ご提案について

No.	ご意見・ご提案	ご意見・ご提案に対する市の考え方	ジャンル
47	バス利用での那覇へのアクセスが殆どないに等しい。 屋宜原の国道507号まで行かないと那覇までのバスがないのでどうにか運行できないか。 市役所から那覇空港までのバスを運行しているのはいいと思うが一旦市役所まで行かないと乗れないのは不便なので今のルートで乗る人の需要が多いと思われる場所を1箇所ないし2箇所くらい経由して行く方が利用客は増えると思うのでご検討ください。	バス利用者の減少や、深刻な運転士不足等による地方の公共交通の衰退が要因となり、民間事業者の運営による那覇行きのバス路線は、本市のみでは解決困難な大きな課題であり、今後も国・県・バス事業者と連携し、公共交通の利便性の向上を目指してまいります。	公共交通
48	Nバスの導入で一見便利になったように見えるけれども、知念高校に行くにも向陽高校に行くにも乗り換えが必要に割に連絡が悪く、運賃も2倍。子育てに力を入れている市政とは思えないNバス運用にあきれます。各学校スクールバスを出す等して対応できないでしょうか。 Nバスを南農とか工業、商業高校、登下校の時間だけでも走らすことできませんか	各高校へのバス運行は本市のみで解決出来ない大きな課題であり、今後も国・県・民間バス事業者と連携し、高校生アンケートなどによる乗り換え時刻の調査を行い、更なる利便性の向上を目指してまいります。 Nバスについては、市内に高校が無いという状況を踏まえ、高校生も小中学生と同額（回数券利用で80円/定額300円）に設定しておりますので、引き続きご利用をお願いいたします。	公共交通
49	なんじいチケットを市内のスーパー・病院等どこでも利用できるようにして欲しい (今、イオンだけなので)	おでかけなんじいに対するサービス券（帰り分のチケット）の発行については、現在市内事業者2か所（スーパー1、病院1）が各事業者負担で実施しているサービスです。今後も市内事業者と連携を図り、おでかけなんじいの利用促進に努めてまいります。	公共交通
50	小学校への送迎バスの運行ができないか。	令和元年10月の南城市公共交通再編に伴い、市内線バスの通学利用を促進していることから、小学校への通学バスの運行は予定しておりません。利用促進のため小学生の利用料金を80円（回数券利用の場合）と設定し、小学校前にNバスの停留所も設置していますので、是非そちらをご利用下さい。	教育
51	自己肯定感をあげるような施策、事業を展開してほしい。	「南城市こどものまち宣言」に関連し、自己肯定感を育むような事業の展開を関係機関と連携し進めてまいります。 南城市学力向上推進の目標の一つに「自己肯定感の高まり」を位置づけ、市内全小中学校において、Q-Uテスト（楽しい学校生活を送るためのアンケート）を活用したアセスメントを行い、引き続き児童生徒一人一人の学級や学校満足度を把握し、支持的風土のある学級経営作りに努めてまいります。	教育
52	コロナを始め子どもの安全が最優先のため、語学留学でフィリピンに派遣することは特に慎重に検討いただきたい。	市としても子供たちの安全が最優先と考えております。社会情勢を注視し、慎重に検討してまいります。	教育
53	市内の中学校指定制服を統一できないか。	制服は各学校毎に指定しており、現在、各学校の取組に任せています。保護者等からの要望状況を踏まえ、検討してまいります。	教育

令和2年度 本市の基本施策に関する 市民からのご意見・ご提案について

No.	ご意見・ご提案	ご意見・ご提案に対する市の考え方	ジャンル
54	こども達の部活が盛んなのでみんなで大会で移動するときとか利用できる大型バスの数を増やしてほしい。	台数に限りはありますがマイクロバスが借用できるよう運用しておりますのでご活用ください。	教育
55	健やかな子どもの育ちのために、“マスクが強要されることのない”ような、学校内でのコロナウイルス感染症対策をご検討いただきたい。	マスク着用は感染防止対策として大切な取り組みと考えます。しかし、熱中症が心配される時期や体育の時間などにおいては、距離を取りながらマスクを外すなど、児童生徒の健やかな育ちに配慮した指導しております。	教育
56	南城市で提供される、学校給食について、できるだけ地産地消の安心安全な食材で賄えるよう、予算をつけることを切望します。	市では給食に使用される野菜を市内及び県内産を多く利用しており、今後も農林水産部と連携し、地産地消を推進して安心安全な給食を提供していきます。	教育
57	糸数豪は南城市の重要な戦跡であり、沖縄戦の語り部である。小中高の平和学習に活用してほしい。	各学校では年間行事に沿って、糸数壕等の戦跡を活用した平和学習に取り組んでおります。	教育
58	文化財に触れる機会や環境整備を進めてほしい。文化財の説明をARを活用し、スマホで多言語で読めるなどを行政に求める。	現在、デジタルアーカイブ事業を実施しており、その中で地域の文化財に対する説明を多言語で実施している。令和3年度も継続して、実施していく予定です。	教育
59	大里改善センターや適応指導教室を間口を広げ、楽しい事や外での活動をし、元気になる場所、スタッフをふやしてほしい	適応指導教室は、地域や県の同様な機関と計画的に交流活動を行っております。スタッフについては対象児童数に合わせ対応しております。	教育
60	性教育の取り組みについての現状を教えてください。	小学校は3年生からの保健、中学校では保健体育の授業で行っています。時には、養護教諭や外部講師を招いて講話を行う場合もあります。	教育
61	おとなの成長の取り組みとして、大人の意識が変われば子どもに与える影響は良くなると思うので、無料参加出来る教育の機会がほしい。	市立中央公民館で開催する公民館講座を無料で実施していますので、参加についてご検討ください。	教育
62	市内に高校や専門学校の誘致をしてほしい。	<p>県立高校については、唯一、市の中で県立高校が設置されていない実情を踏まえ、令和2年12月7日に南城市長、南城市教育長の連名で県立高等学校の設置に関する要請を行っております。専門学校については、2019年に玉城庁舎跡に、バカロレア教育認定校であるオキナワインターナショナルスクール（小中学生）が開校し、2020年4月からは、沖縄国際学院高等学校が開校し、県内唯一の国際バカロレア認定校として小中高一貫教育を実施しています。</p> <p>また、南城市教育委員会より次期沖縄県立高等学校編成整備の基本方向について、市に寄せられた意見を沖縄県教育委員会へ進達しております。</p> <p>本市への県立高等学校の設置については市のまちづくりにも大きな影響を与えることから、引き続き、高校や専門学校の誘致に取り組んでまいります。</p>	教育

令和2年度 本市の基本施策に関する 市民からのご意見・ご提案について

No.	ご意見・ご提案	ご意見・ご提案に対する市の考え方	ジャンル
63	市役所周辺にJA（ちゃんぶる市場）等を誘致してほしい。	本市においては、公共施設を経営的視点で捉え、実際に公共施設を暫定利用してもらいながら、従来の市場調査プロセスを兼ねたトライアル・サウンディングを庁舎等複合施設で実施しております。市役所周辺へJA（ちゃんぶる市場）等の誘致については、現在のところJAからの具体的な提案はありませんが、出店の意向があれば、今後、検討することは可能と考えております。	企業誘致
64	市内で働く場所を増やしてほしい。	本市では雇用機会の創出等に向けて、市全体に係る農業振興地域整備計画及び土地利用の見直しを行っております。今後も引き続き、既存の農林水産業や商工業の振興育成支援や企業誘致等により市内で働く場所の確保に取り組んでまいります。	企業誘致
65	高齢者でも通院できる病院を市内に誘致してほしい。	現在、南城市内には病院（クリニック、診療所など）が9施設あり、内、高齢者が通院できる病院は8施設あります。しかしながら、市内には救急病院はなく、市外への通院も余儀なくされる高齢者もいることから、市民が安心して暮らすことができるように市内への病院や診療所の誘致について検討してまいります。	企業誘致
66	知念福祉センターに民間企業を誘致し、就業場所の確保してほしい。	知念福祉センターは南城市社会福祉協議会所有の土地・建物ではありますが、周辺エリアと一体となった有効活用ができないかどうか検討しております。引き続き社会福祉協議会と協議し、雇用（就業場所）の確保に努めてまいります。	企業誘致
67	つきしろあたりに大型スーパーができてほしい。	市の土地利用計画において、南部東道路つきしろIC南側は地域生活機能誘導ゾーンとして位置づけ、日常の買い物や大型商業施設の立地による賑わいが創出できるように土地利用の実現を目指し取り組んでまいります。	企業誘致
68	市役所近くに学習塾がほしい。	R2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による長期休校で、高校受験に不安を感じる市内中学生を対象に、市庁舎を活用し無料塾を開催しました。昨年実施した効果なども検証し、今後、誘致について検討してまいります。	企業誘致
69	南城市の観光環境（宿泊施設等）の整備を積極的に進めてほしい。	宿泊施設の企業誘致を含め、検討してまいります。	観光
70	観光につながる屋根付きのバス停の設置をお願いします。	実情やニーズを把握し、必要に応じて関係機関（国またはバス協会）と調整し検討してまいります。	観光
71	オムツゴミの無料化、ゴミの分別を細かくしてリサイクルできるものはリサイクルしてほしい。	オムツゴミのリサイクル等については、今後、ごみ処理を共同実施している南部広域行政組合と協議してまいります。	環境

令和2年度 本市の基本施策に関する 市民からのご意見・ご提案について

No.	ご意見・ご提案	ご意見・ご提案に対する市の考え方	ジャンル
72	市内の歩道の環境 ゴミが捨てられ放置されていたり、自動車が停車している事が多い。 「歩道を歩く人はいないだろう」という市民の意識を変える必要がある。 ゴミのポイ捨て等はマイクロプラスチックにも繋がる。又、観光地としての美観の問題にも関わると思われる。	不法投棄に対しては、パトロールによる早期発見や警告書の貼り付け、看板設置等を継続し、市民ボランティアグループによる清掃活動と連携してポイ捨てや海岸漂着ゴミの回収も引き続き行ってまいります。また、放置自動車についても施設管理者にて警告書の貼り付けや指導など、引き続き警察署と連携し撤去する等、風光明媚な観光地の美観の維持に努めてまいります。	環境
73	ゴミ袋に「とって」がある袋の採用を検討してほしい。	令和2年6月1日から取って付きごみ袋（燃やすごみの中サイズ）の販売を開始しておりますのでご活用をお願いします。	環境
74	大里地区の下水問題の解決に向けた取組み。	下水道による処理区域外の地区については、今後、公共下水道（汚水）事業及び集落排水事業により検討していきたいと考えております。	環境
75	・南城市役所から大里城址公園向け（特に、しのめの丘を過ぎてから(大城按司の墓、太陽光発電所)の街灯の設置(至急)をお願いします。 ・街灯の設置や、雑草をなくしたり、ごみを放置したままにしないなど、市民活動の活性化や市民意識の向上による、生活の安全・子どもたちの安全対策を講じてほしい。	主に道路を照らすことが目的である道路照明灯については現在、交通量、歩行者数、交通事故件数、道路の制限速度、歩道等有無など国の道路照明施設設置基準に照らして設置しております。 防犯を目的として設置する集落道の防犯灯については、必要な自治会へ補助金を交付するという形を取っておりますので、引き続き、各自治会と連携を図ってまいります。 市民活動については、広報等による啓発や市民ボランティアグループ支援による環境意識の向上に取り組んでおります。また、市内のパトロールを実施し「ごみ捨て」や「防犯」の監視体制を図り子供の安全安心対策も努めてまいります。	環境
76	自然環境保全も含めた形での、未来を見据えた安心安全な南城市のイメージ構想を施策展開してはいかがでしょうか。	本市の土地利用に関する計画では、開発と自然環境の保全のバランスについて明記しており、実現に向けて取り組んでいるところです。	環境
77	性別・年齢・出身などに関わらず、平等に対等に接することができるよう、幼い頃から伝える機会や大人への研修の機会を与えてほしい。	市内小中学校への出前講座や講演会等を実施し、市民一人ひとりが互いの人権を認め合いながら、それぞれ持つ意思や力を活かし社会のあらゆる分野の活動に参画し、SDGsの理念も踏まえながら、自分らしい生活を営むことの出来る元気で魅力あるまちの実現に向けて取り組んでまいります。	その他
78	チョービン市長ならではの市民目線での施策の実施を期待しています。市民のための市税としての活用をどうお考えでしょうか。	大里地区統合幼稚園の建設や市立幼稚園の公立認定こども園、公私連携型認定こども園への移行等を行い、子育て環境の充実を図ります。また就学援助制度の認知度向上や障がい者、生活弱者支援など「市民の声でまちづくり」をモットーに、市民のための優しい政策を行い、市民が主役の南城市実現のため、ふるさと納税など、市税の増収に努めるとともに、市税の有効活用に努めてまいります。	その他
79	一般公開用の地図情報システムの整備をしてほしい。 参考： https://www.sonicweb-asp.jp/naha/	一般公開用の地図情報システムについては、費用対効果を含め引き続き検討してまいります。	その他

令和2年度 本市の基本施策に関する 市民からのご意見・ご提案について

No.	ご意見・ご提案	ご意見・ご提案に対する市の考え方	ジャンル
80	誰もが住みたくなくなるような魅力ある政策展開を期待します。	現在、市全体に係る農業振興地域整備計画及び土地利用の見直しを行っており、魅力あるまちづくりを目指して今後も取り組んでまいります。	その他
81	南城市の防災ラジオの難視聴地域がある。防災ラジオがちゃんと聴けるように何かしらの対策してほしいです。	市内には4つの中継局（糸数・大里・馬天・久高）がございます。難聴地域は、各中継所からの周波数がぶつかり合って、電波干渉が起こる場所もございますが、一番の難聴地区は久高中継局を利用している知念地域と考えます。原因としては、計画していた送信電力の容量が要望以下の国の許可となったこと、また、海上は気象条件などの影響も受けやすいことから、電波が不安定となっている事が考えられます。 今後の対策としては、免許機関への送信電力容量の調整や久高中継所を本島に移設した場合のシミュレーションを行いたいと考えております。	その他
82	人数を少し減らしてでも60歳未満の市議会議員の給料を増やし、もっと若い人や子育て世代の人が議員になりやすい環境にしてほしい。	平成18年1月に63名であった議員定数を平成18年9月に22名、平成21年9月に20名へ改正し現在に至っております。平成29年4月には議員報酬を増額し、令和3年3月から欠席事由に育児、看護、介護等を明記し、出産についても産前産後期間に配慮した規定の整備を行っています。 今後も市議会への多様な人材の参画を促進する方策を検討していきます。	その他
83	議員の勉強会を開催し、議会討論を充実させてほしい。	議員の資質向上のため、沖縄県市議会議長会や南部地区議長会などが開催する研修会への参加、常任委員会の先進地視察及び所管事務調査を行っています。また、各会派では政務活動を積極的に行っています。 議員の更なる資質向上をはかるため、内容や実施方法などを調査研究していきます。	その他
84	昨年度より沖縄県が開始した「骨髄ドナーへの助成金」が南城市では受けられないため早急に南城市でも当制度の対象となるよう取り組んでいただきたい。 https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/chiikihoken/hojokin.html	令和4年度以降の実施に向けて検討してまいります。	その他